

事業名：東野幌青少年会館管理運営費

子ども家庭課 児童母子係

政策	03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実								
施策	03 子育て環境の充実								
基本事業	03 学齢期児童への支援								
開始年度	昭和46年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
東野幌青少年会館	
手段（事務事業の内容、やり方）	
東野幌青少年会館の維持・管理に要する経費。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
施設を適正に維持・管理することで、地域住民（児童・成人）の交流拠点施設として、安心・安全に利用できる。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	開館日数	日	360	359	359	359
活動指標2						
成果指標1	延べ利用人数	人	18,641	17,847	17,039	18,481
成果指標2						
事業費(A)		千円	6,453	6,181	6,175	6,427
正職員人件費(B)		千円	803	802	781	782
総事業費(A+B)		千円	7,256	6,983	6,956	7,209

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	東野幌青少年会館の維持、管理	施設の維持、管理に係る委託料（指定管理料） 6,134千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
事業を取り巻く環境変化	
青少年の生活と文化の振興及び地域の福祉を増進する目的で設置された施設であるが、平成10年度には野幌鉄南住区の児童館として機能が付加され利用されている。	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
青少年の生活と文化の振興及び地域の福祉を増進する目的で設置された施設であり、30年に渡り地域住民に利用され、平成10年度には野幌鉄南住区の児童館として機能が付加されており、市で管理運営を行うのは妥当である。	
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
地域の住民の身近な施設及び地域児童館としての機能が付加されたことで貢献している。	
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
地域の住民の身近な施設及び地域児童館としての機能が付加されたことにより、児童及び大人との交流も図れることとなり成果は大きい。	
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
施設機能を安全に維持するために、必要最小限の施設維持管理を行っている。	
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠
指定管理者制度を導入した成果を検証する必要がある。	